

平成29年度 地域連携活動報告書

連携先名称	富岡市	担当教員	デザイン農学科 長島孝行
活動状況	継続中	関連教員	-
協定締結日	平成26年12月22日	活動資金	研究室予算
活動内容	<p>富岡製糸場およびその周辺遺産群が世界遺産に登録されたのを受けて、富岡市の世界遺産登録に伴うレガシーを東京農業大学と富岡市の連携協定によって作り上げることを目的としている。具体的には養蚕や製糸に関連させた本学の研究成果を下に、世界遺産に相応しい地域づくりのアイデア等を出し合い、市民も参加できる賑やかな街づくり、地域経済活性を図るものである。今年度は富岡市に依頼された地域経済活性のための市民向け講演、行政のための活動、群馬交友会支部協力の富岡産シルクの商品開発の勉強会、研究室学生と地域の商工会議所がジョイントした農大マルシェなどを開催した。また今年5月には、隈研吾氏設計の富岡市新市庁舎落成式典が盛大に開催され、長島は隈研吾氏と共に式典に参加。装飾に絹がちりばめられていることから、その説明などもしてきた。</p>		
活動成果	<p>3月11日（日）10時から午後3時まで、富岡駅前広場、城町通りポケットパーク、富岡公民館の3か所で、農大マルシェを開催。複数の協賛団体の協力のもと、院生、学生16名、地元富岡実業高校生3名、地元企業2社が各ブースに分かれて、シルクや製糸に関わる富岡らしい新製品（シルク化粧品、シルク石鹸、シルクサプリメント、桑カステラ、桑入りピザなど）の説明とPRを実施した。また、美容液などに関しては作り方の教室なども実践した。更には学生による未来の富岡について、富岡市内、市外の方に分けてアンケート調査なども実施した。5時間という短い時間ではあったが、農大マルシェには600名の市内外からの一般参加があり、農大との地域協力戦略、富岡での新しいお土産品作り、富岡流おもてなしなどに関して多くの参加者に知ってもらうことができた。また、内容の一部は当日と翌日の上毛新聞などにも取り上げられた。同様に他の市民への講演や地元農大交友会との勉強会なども地元新聞社が取り上げ、記事になっている。また五月に市長が代わったものの、街のデザインなどについても引き続き連携を計っていく予定である。</p>		
課題・改善点	<p>地域連携を推進していくことは実学を前に出している農大では極めて重要なことであるが、その連携（コト）から生まれた成果（モノ）が一般社会では評価されることを強く認識しなければならない。富岡ではすでに地元の機能性農藝品としてショップに出せる食品やお土産にもなるような商品開発が大学、交友会との共同で販売手前まで来ている。引き続き大学、交友会の強い協力を切に願うものである。</p>		



左上から：農大マルシェ、桑和菓子を説明、繭石鹸を紹介
シルク美容液づくり講座、元富岡市長と、和紙作り体験